



学薬のひろば



Vol. 024

今年度、県内一斉調査において初めての試みとしてネットからも回答可能である旨、お願いをしてきました。一部、誤って入力してしまったときの修正などで問い合わせ等がありましたが概して好評で初年度に関わらず多くの回答をいただきました。後の集計等も迅速にできることからこれからこうしたネットの利用をできるだけ推進していこうと考えています。

なお、この5月より県学薬H・Pの専用アドレスは、

<http://yak.a-gaku.jp/>

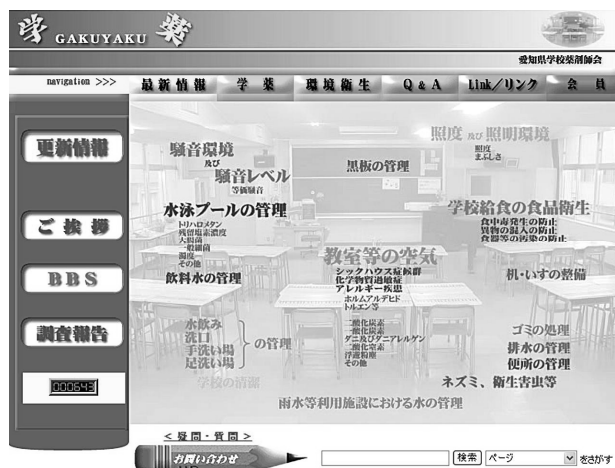
となっています。

会員用ページのID及びパスワードは、

ID : a i c h i

パスワード : g a k u 0 0

であり、県薬H・Pには10/1 より



リンクさせる予定です。また県内一斉調査の結果報告、検査報告書の様式等につきましても順次ここにUPしていく予定ですのでよろしくお願い致します。

さて、「くすりの正しい使い方」について平成16年度の講習会においてテキスト及びCDを配布させていただき、薬剤師によるくすりの正しい使い方の学校での普及をお願いしたわけですが、その後利用していただけたでしょうか。学校側の希望などから薬物乱用防止と絡めて実施する場合も多いかと思しますので、これからも実情に合わせた資料等の作成に心がけていきたいと思っています。なお、実施された先生におかれましては報告、感想等を県学薬までご報告願えれば今後の活動にあたっての励み、参考になると考えますのでよろしくお願い致します。

<参考事例>

平成17年度第1回学校保健委員会

薬と乱用薬物（薬の正しい使い方・薬物乱用防止教育）

講演者： 木全勝彦
学校名： 豊田市立藤岡中学校 体育館
対象者： 2年生（300名弱）、PTA厚生部
実施日： 平成17年6月30日
内 容： “くすりの正しい使い方”の中学校バージョン



のPPを基本に、違法薬物についての資料を追加して実施した。
特にタバコについては愛知県・名古屋市の学校敷地内禁煙の取り組みとゲートウェイドラッグと呼ばれる理由を、2相性の効果を合わせもつニコチンの薬物乱用として具体例をあげて話した。

評 価： 生徒全員へのアンケート結果より

1. 今日の講演を聞いて、どう思いましたか？

とても良い 少し良い 普通 少し悪い とても悪い
(5) (4) (3) (2) (1)

平均 3.7 の評価であった

2. 今日のお話は、あなたの今後の生き方に役に立つと思いますか？

とても役に立つ たぶん役に立つ わからない あまり役に立たない 役に立たない
(5) (4) (3) (2) (1)

平均 4.0 の評価であった。

<生徒の感想>

1. わたしは、薬は生きていくのにとっても大切なものだと思っていたのに、体に良くない物や場合があると知って少し裏切られた感じでした。かぜをひいたとき、とても頼りにしていたのに、これからは少し考えて薬を使わないといけなかったと思います。でも一番は、薬のいらぬ生活することだと思います。
2. 薬物乱用はよくテレビでやっているの、ほとんど分かっていると思っていたら、全然知らないことばかりでとてもためになりました。これからはお父さんがタバコを吸っているの、注意してあげようと思います。
3. 身近にあるくすりは、体を良くするものでもあり、逆に体を悪くする恐れもあるものだという事を知りました。体に悪いと思って少なめに飲むこともあったけど、これからはよく説明を聞いて飲みたいと思います。

<父兄の感想>

1. 普段何気なく使用している薬ですが、改めて考えながら使用しなければいけないものだと思います。子供と家で薬について話し合う機会をつくることができました。
2. 鎮痛剤の場合、依存しがちですが、飲む前に薬剤師さんに相談することが大事だと思います。

<教頭先生のお話>

みなさんが薬について考えてみるいい機会でした。今日のお話を聞いて薬とは使用方法を間違えればある意味“毒”にもなるものだと感じました。そしてくすりに頼らなくてもよい健康な体を作ることがこれからのみなさんにはとても重要なことだと思います。

<学校薬剤師 中垣先生のお話>

14才という皆さんの人生の大切な時期にこうしたお話しが聞けてとても良かったと思います。

学校環境衛生検査票

(ダニ又はダニアレルゲン)

愛知県学校薬剤師会

学 校 名					
学校薬剤師名		天 候		気 温	
検査日時	平成 年 月 日 ()		午前・午後	時	分
検査場所	教室名 () 1. 保健室の寝具 () 2. カーペット敷きの教室 () 3. その他 ()				
検査方法	1. 簡易法 (a . マイティーチェッカー b . ダニスキャン) 2. 匹数計測法 3. 酵素免疫法 (E L I S A 法)				
検査結果 (マイティーチェッカー)	結 果			判 定	
	+	+	+	+	-
	+	+	+	-	-
	(3 5 0 匹以上)	(1 5 0 匹)	(1 0 0 匹)	(5 0 匹)	(1 0 匹以下)
指導・助言					

基準について

- ・夏場に行うことが望ましい
- ・保健室の寝具、カーペット敷の教室等、ダニの発生しやすい場所において、1㎡を電気掃除機で1分間吸引しダニを捕集する。捕集したダニを顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫法にてアレルゲン量を測定する。なお、これらと関連の高い方法（簡易法）によって行うこともできる。

判定について

- ・ダニ数は100匹/㎡以下、又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。
- マイティーチェッカーでは(+)以下で適、(+)以上で不適とする。

事後措置について

- ・基準値を超える場合は、掃除等の方法について改善等を行う。
- ・具体的には電気掃除機で毎日丁寧に掃除することであり、また、保健室の寝具には、必ず布団カバーやシーツを掛け、週に2回程度は取り替えるよう心がける。クリーニングでのり付けすることによって、布団の中からのダニの出現を防ぐことができる。